



戦没者への慰霊と平和を祈念

(3月21日)

西地区戦没者追悼式が二本松公民館で行われました。本年度から西地区遺族会が主催となった式典には約60人が参加しました。式典では中学生による平和作文や遺族による体験談が語られました。祭壇に参列者が家庭の庭に咲いている花々を飾り、歴史を語り継ぎ、平和を守ることを誓いました。

データ利活用で未来の裾野を考える (3月24日)

生涯学習センターでみらい会議が開催され、市民の皆さんや市職員など約60人が参加しました。みらい会議実行委員の活動成果報告の後、グループに分かれ「SIMすその2030」という財政シュミレーションゲームやSWOT分析などを通じて、ICTやAI時代のまちづくりにおけるデータ利活用の大切さを学びました。

特派員：鈴木 敬盛



犯罪被害者を一体となって支援

(3月25日)

市は、裾野警察署、静岡犯罪被害者支援センターと犯罪被害者支援の連携協力に関する協定を結びました。犯罪被害者などの支援の連携、権利利益の保護を図るため、積極的に協力していくことを定めたものです。犯罪被害者に寄り添った活動を着実に進めるという意思を確認し合いました。

春の訪れを告げる手作りマルシェ (3月31日)

第3回さくらマルシェが市民文化センターで行われました。今回はミュージックワークスとの共同開催で、地元アーティストなどのライブやパフォーマンスも行われました。出店した50以上のブースで桜をテーマにした食べ物や手作り商品が提供され、来場者は咲き始めの桜並木を散策しながら楽しみました。

特派員：渡邊 英機、勝又 しんじ





新たな団員を迎え消防力向上へ (4月1日)

消防団委嘱状交付式が市民体育館で行われました。新入団員を代表し、深良分団の草薙一史さんが「誠実かつ公平に消防職務の遂行にあたることを固く誓います」と力強く宣誓を行いました。式に併せて、消防出初式写真コンクールの表彰式が行われ、優秀者に賞状と記念品が贈られました。

花の名所で菜の花 & 桜まつり (4月6・7日)

第8回富士山すそのパノラマロード菜の花&桜まつりがパノラマ遊花の里で行われました。パノラマロードを花でいっぱいにする会が市民の皆さんと育てた菜の花や桜が見頃を迎え、来場者は写真を撮ったり、出店の食べ物を食べたりしながら春のぼかぼか陽気を楽しみました。



あの、その、すその **特派員リポート**

■春まつりでころころ笑う子どもたち (3月30日)



春フェスタ2019が、矢崎総業(株)Y-CITYで開催されました。咲き始めた桜に囲まれた会場は、春の香りでいっぱいでした。ステージ上ではヒーローショーや矢崎保育園園児によるかわいらしいダンスなどが披露されました。はしご車やパトカーなども展示され、白バイの試乗体験に子どもたちは大興奮していました。出展屋台の食べ物に花より団子の子どもたちもチラホラいて、普段はあまり立ち入ることのない場所で、思い思いの楽しみ方を満喫したイベントとなりました。



春は桜のイベントが多く行われます。今回もウキウキしながら会場を訪れました。家族連れが多く、会場には子どもたちの笑い声が溢れていました。裾野市はイベントが多く開催されているので、また楽しみながら取材をしたいです。

広報特派員 杉本 武満